

第7回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2020年12月～2021年1月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を20日発表しました。

調査は、アメリカ、フランス、中国、韓国、タイの5カ国において、各国約1,000人の回答を得ました。アメリカ、フランス、韓国は電話調査、中国、タイは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回この5カ国にイギリスを加えた6カ国で行っていましたが、7回目となる今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響でイギリスでの調査ができませんでした。主な調査結果は以下の通りです。

東京五輪・パラ、海外でも「中止・延期すべき」が70%超

・新型コロナウイルス感染症が世界的に収束していない中での東京五輪・パラリンピック開催について尋ねたところ、「中止すべきだ」と「さらに延期すべきだ」の合計はタイ（95.6%）、韓国（94.7%）、中国（82.1%）、アメリカ（74.4%）、フランス（70.6%）でいずれも70%を超えた。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」で、日本でも同じ質問をしたが、「中止・延期」が71.9%だった。（資料編1㉟ 図表1）

中、韓、米は感染症対策重視が多数

・自国政府の新型コロナウイルス感染症対策を評価する際、感染症対策と経済対策のどちらを重視したか尋ねたところ、「感染症対策」（「感染症対策」と「どちらかと言えば感染症対策」と答えた人の合計）が中国で85.6%と最も多く、次いで韓国が57.7%、アメリカが57.1%、タイは41.3%となった。フランスは「感染症対策」と「経済対策」（「経済対策」と「どちらかと言えば経済対策」の合計）がともに20%台にとどまり、「どちらとも言えない」が43.3%と多かった。（資料編2㉟ 図表2）

・新型コロナウイルス感染症に対する自国政府の対応を、大変評価している場合は100点、全く評価していない場合は0点、どちらとも言えない場合を50点として点数をつけてもらったところ、中国が88.8点と最も高く、次いで韓国が65.0点、タイが63.4点、アメリカが56.3点、フランスが49.4点だった。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、日本政府に対する評価は53.6点だった。（資料編2㉟ 図表3）

2021年3月20日
公益財団法人 新聞通信調査会

米、韓、仏は「社会の分断を感じる」が70%超

・アメリカ大統領選後の世界はどうなっていくと思うか尋ねたところ、「よくなる」と答えた人が韓国で47.6%と最も多く、次いでフランスが43.5%となった。タイ、アメリカ、中国は30%台。タイと中国では「変わらない」が50%を超えた。アメリカは「悪くなる」が他の国より多く26.5%。（資料編3 図表4）

・自国で社会の分断を感じるか尋ねたところ、「感じる」（「感じる」と「どちらかと言えば感じる」と答えた人の合計）がアメリカで最も多く77.3%、韓国とフランスでも70%台となった。次いでタイは66.6%。中国は44.3%と少なかった。（資料編3 図表5）

期待する日本報道、「観光情報」は米、仏、中で後退

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで77.3%、韓国で71.0%となった。以下、フランス67.6%、中国59.1%、アメリカ51.2%。アメリカは前回から7.0%低下。（資料編4 図表6）

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く4カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカは「国際協力や平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国と韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。（資料編4 図表7）

・前回調査と比較すると、「観光情報」は前回アメリカで6→4位、フランスで6→5位に上昇したが、今回はともに順位を1つ下げた。また、2位をキープしていた中国でも3位に下げた。いずれもコロナ禍による移動制限の影響で順位を下げたと推察される。中国では「政治、経済、外交政策」が第5回調査から7→5→2位に上昇。（資料編4 図表7）

日本に関する情報、中国はネットが1位、他の4カ国は「テレビ、新聞、雑誌」が1位

・日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の4カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位（複数回答）。中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。（資料編5 図表8）

・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。「知っているものはない」はアメリカで81.0%、フランスで74.8%。知っているメディアでは、「NHK（ワールドTV、ラジオジャパンなど）」がすべての国で1位（複数回答）。（資料編5 図表9）

訪日意向、中、米、タイで減少続く

- ・訪日経験があるのは韓国で 58.5%。中国、アメリカは 10%強。タイ、フランスは 6%前後。時系列変化を見ると、韓国とタイが低下、他の 3 カ国は横ばい。（資料編 6 ㊦ 図表 10）
- ・訪日意向は、中国が前回より 19.4 ㊦減の 40.3%、アメリカが 6.5 ㊦減の 51.8%、タイが 5.4 ㊦減の 77.8%となった。一方、韓国が前回より 16.8 ㊦増の 51.0%、フランスが 2.6 ㊦増の 60.2%となった。（資料編 6 ㊦ 図表 11）

中国への好感度は 4 カ国すべてで低下

- ・日本に対する好感度はタイ 89.6%、アメリカ 79.6%、フランス 77.8%。前回と比べると、フランスは上昇、アメリカ、タイは低下。中国、韓国は 39.7%、31.3%と低いが、ともに前回より上昇した。（資料編 7 ㊦ 図表 12）
- ・アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、フランスは日本、イギリス、タイ、韓国、アメリカの順に 50%以上の好感度。（資料編 7 ㊦ 図表 12）
- ・中国はフランス、タイ、韓国の順に、韓国はアメリカ、イギリス、フランス、タイの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国、中国の順に 50%以上の好感度。（資料編 7 ㊦ 図表 12）
- ・前回からの変化を見ると、中国はアメリカ、フランス、タイの 3 カ国とは相互に好感度が低下した。また、中国はイギリスに対しても 27.3 ㊦の大幅低下。タイは対象 6 カ国すべてに対して低下した。一方、韓国に対してフランスと中国、タイに対してフランスでは好感度が上昇した。（資料編 7 ㊦ 図表 12）

日本に対する信頼度は中、韓で上昇

- ・日本について「信頼できる」はタイで 86.7%、フランスで 79.1%、アメリカで 77.3%。昨年度からの変化では、タイが 8.9 ㊦低下した。中国は 38.8%、韓国は 19.7%と低いが、時系列変化を見ると、前回 6.7 ㊦低下した中国は今回 13.1 ㊦の上昇となった。前回 5.1 ㊦低下した韓国は 6.7 ㊦の上昇となった。（資料編 8 ㊦ 図表 13）
- ・6 カ国相互の信頼度では、アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、フランスは日本、イギリス、タイ、韓国、アメリカの順に 50%以上の信頼度。中国はフランス、タイ、韓国の順に、韓国はイギリス、フランス、アメリカの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国の順に 50%以上の信頼度。（資料編 8 ㊦ 図表 14）
- ・前回からの変化を見ると、中国はアメリカ、フランス、タイの 3 カ国とは相互に 10 ㊦以上の低下となった。また、中国はイギリスに対しても 24.7 ㊦の大幅低下。タイは対象 6 カ国すべてに対して低下した。一方、アメリカに対して韓国、韓国に対してフランスでは信頼度が上昇した。（資料編 8 ㊦ 図表 14）

新聞の情報信頼度、中、米、仏、韓で上昇

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、中国が 71.8 点で前回より 4.9 点の上昇、タイが 61.4 点で 7.1 点の低下、アメリカが 57.9 点で 2.6 点の上昇、フランスが 56.9 点で 0.9 点の上昇、韓国が 56.0 点で 4.5 点の上昇だった。昨年 11 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 69.2 点だった。(資料編 9 頁 図表 15)

ニュース視聴の利用媒体、中国はネットが 1 位、他の 4 カ国はテレビが 1 位

・ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ、フランス、韓国、タイはテレビが 1 位、中国はインターネットのニュースサイトが 1 位（複数回答）。2 位にはアメリカ、韓国はインターネットのニュースサイト、フランスは新聞、中国はテレビ、タイは SNS (facebook、twitter など)。(資料編 10 頁 図表 16)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、5 カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に中国とタイは 50% を超えた。前回と比べると、「電子版のみ」はタイの 22.3 ポイント増をはじめ、5 カ国とも増加した。(資料編 10 頁 図表 17)

・ネットニュースや SNS を見るのに使用する機器は、前回同様 5 カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が 1 位（複数回答）。(資料編 10 頁 図表 18)

ネットニュースの出所を気にするのは、タイ、米、仏で 80% 台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、5 カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）が 60% 以上となり、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが 88.4% で最も多く、アメリカ、フランスでも 80% 台。中国は 76.7%、韓国は 68.0% だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが 60.7% で最も多く、次いでアメリカが 40.6%。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国を除く 4 カ国で増加した。昨年 11 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が 42.4%、そのうち「いつも気にする」のは 11.1% だった。(資料編 11 頁 図表 19)

「報道の自由は常に保障されるべき」各国 80%以上が支持

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）がフランスで最も多く 92.8%。他の4カ国で 80%台。昨年と比較すると、フランスと中国では増加、アメリカとタイでは減少した。（資料編 12 頁 図表 20（1））
- ・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイと中国で 70%台。アメリカ、韓国で 50%を超えるが、フランスで 43.0%にとどまった。昨年と比較すると、アメリカ、中国、韓国では増加、フランスとタイでは減少した。（資料編 12 頁 図表 20（2））
- ・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がタイで最も多く 74.5%、アメリカ、中国で 60%台となったが、韓国とフランスで 50%を下回った。昨年と比較すると、アメリカと中国では増加、フランスでは減少した。（資料編 13 頁 図表 20（3））
- ・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がアメリカ、フランス、タイで 70%台。中国と韓国は 50%台。昨年と比較すると、アメリカと中国では増加、フランス、韓国、タイでは減少した。（資料編 13 頁 図表 20（4））

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
アメリカ	12月28日～1月3日	電話調査	S S R S	全国
フランス	1月6日～12日	電話調査	C S A	全国
中国	12月18日～22日	面接調査	C R C リサーチセンター	北京、上海、広州、瀋陽、西安、成都、武漢、合肥、南京、青島
韓国	1月8日～13日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	12月22日～1月22日	面接調査	I P S O S Thailand	バンコク、チェンマイ、ウドーンターニー、ソンクラーク

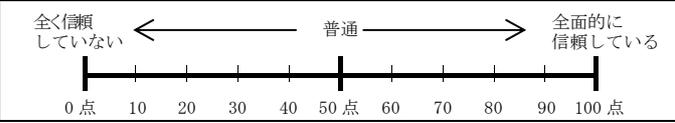
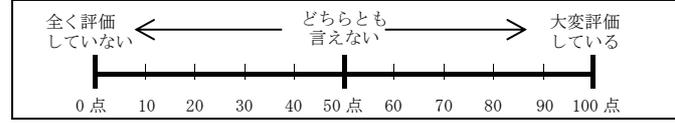
※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

アメリカ	男性	515	51.9%	中国	男性	506	50.6%
	女性	477	48.1%		女性	494	49.4%
	10代(18-19歳)	12	1.2%		10代(18-19歳)	22	2.2%
	20歳代	110	11.1%		20歳代	225	22.5%
	30歳代	168	16.9%		30歳代	353	35.3%
	40歳代	191	19.3%		40歳代	220	22.0%
	50歳代	199	20.1%		50歳代	59	5.9%
	60歳代	168	16.9%		60歳代	118	11.8%
	70歳以上(70-95歳)	144	14.5%		70歳以上(71歳)	3	0.3%
合計	992	100.0%	合計	1,000	100.0%		
フランス	男性	483	48.0%	韓国	男性	506	50.6%
	女性	523	52.0%		女性	494	49.4%
	10代(18-19歳)	22	2.2%		10代(19歳)	9	0.9%
	20歳代	134	13.3%		20歳代	130	13.0%
	30歳代	155	15.4%		30歳代	148	14.8%
	40歳代	175	17.4%		40歳代	197	19.7%
	50歳代	156	15.5%		50歳代	222	22.2%
	60歳代	163	16.2%		60歳代	201	20.1%
	70歳以上(70-97歳)	201	20.0%		70歳以上(70-80歳)	93	9.3%
合計	1,006	100.0%	合計	1,000	100.0%		
タイ	男性	500	50.0%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	500	50.0%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	42	4.2%		10代(18-19歳)	42	4.2%
	20歳代	238	23.8%		20歳代	238	23.8%
	30歳代	230	23.0%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	260	26.0%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	188	18.8%		50歳代	188	18.8%
	60歳代	34	3.4%		60歳代	34	3.4%
70歳以上(70-80歳)	8	0.8%	70歳以上(70-80歳)	8	0.8%		
合計	1,000	100.0%	合計	1,000	100.0%		

●質問一覧

質問	選択肢
<p>問 1. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ</p>	<p>1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない</p>
<p>問 2. では、次の国々を信頼できると思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ</p>	<p>1 とても信頼できる 2 やや信頼できる 3 あまり信頼できない 4 全く信頼できない</p>
<p>問 3. 日本についての知識や情報はどこから得ていますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 自国のテレビ、新聞、雑誌 2 自分の家族や親戚、知人 3 インターネット 4 日本人の友人、知人 5 訪日経験 6 学校教育 7 得ていない</p>
<p>問 4. あなたは日本に行ったことがありますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 行ったことがある 2 行ったことはない</p>
<p>問 5. あなたは日本に行きたいと思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 行きたい 2 行きたくない</p>
<p>問 6. あなたは、日本のメディアをご存知ですか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 NHK (ワールドTV、ラジオジャパンなど) 2 共同通信社 3 時事通信社 4 日本の新聞 (朝日、毎日、読売、日経、産経など) 5 知っているものはない</p>
<p>問 7. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p>問 8. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報 (8) 日本の皇族</p>	<p>1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい</p>
<p>問 9. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 新聞 (紙面) 2 新聞 (電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、twitter など) 7 雑誌</p>
<p>問 10. あなたは、インターネットのニュースやSNS (facebook、twitter など) を見る時に、何を使いますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 パソコン 2 スマートフォン・携帯電話 3 タブレット (例: iPad) 4 その他</p>
<p>問 11. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所 (報道機関名などの配信元) を気にしますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない</p>

質問	選択肢
<p>問 12. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。</p>	
<p>問 13. あなたは、報道の自由についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 報道の自由は常に保障されるべきだ (2) 国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う (3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う (4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそうは思わない 4 そうは思わない
<p>問 14. あなたは、新型コロナウイルス感染症に対する自国の政府の対応をどう思いますか。点数でお答えください。大変評価している場合は100点、全く評価していない場合は0点とし、どちらとも言えない場合を50点としてお答えください。</p>	
<p>問 15. 問 14 で得点をつける際に、あなたは、感染症対策と経済対策のどちらを重視しましたか。(回答は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症対策 2 どちらかと言えば感染症対策 3 どちらとも言えない 4 どちらかと言えば経済対策 5 経済対策
<p>問 16. あなたは、新型コロナウイルス感染症が世界的に収束していない中での東京オリンピック・パラリンピック開催についてどのように思いますか。(回答は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開催すべきだ 2 中止すべきだ 3 さらに延期すべきだ
<p>問 17. アメリカ大統領選の結果、バイデン氏が勝利しましたが、あなたは、これからの世界はどうなっていくと思いますか。(回答は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 よくなる 2 変わらない 3 悪くなる
<p>問 18. アメリカ大統領選の混乱は、アメリカ社会の分断を象徴しているように思われます。あなたは、近年、自国の社会も分断していると感じますか。(回答は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 感じる 2 どちらかと言えば感じる 3 どちらとも言えない 4 どちらかと言えば感じない 5 感じない

第7回 諸外国における対日メディア世論調査

2021年3月20日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル1階

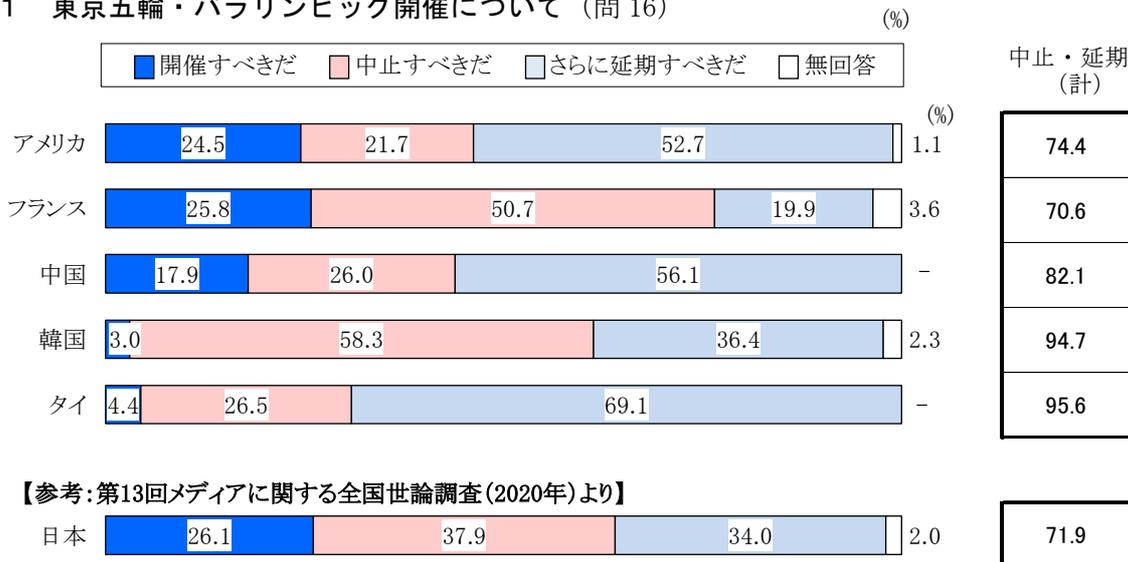
電話 03-3593-1081

資料編

東京五輪・パラ、海外でも「中止・延期すべき」が70%超

- 新型コロナウイルス感染症が世界的に収束していない中での東京五輪・パラリンピック開催について尋ねたところ、「中止すべきだ」と「さらに延期すべきだ」の合計はタイ(95.6%)、韓国(94.7%)、中国(82.1%)、アメリカ(74.4%)、フランス(70.6%)でいずれも70%を超えた。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」で、日本でも同じ質問をしたが、「中止・延期」が71.9%だった。

図表1 東京五輪・パラリンピック開催について（問16）



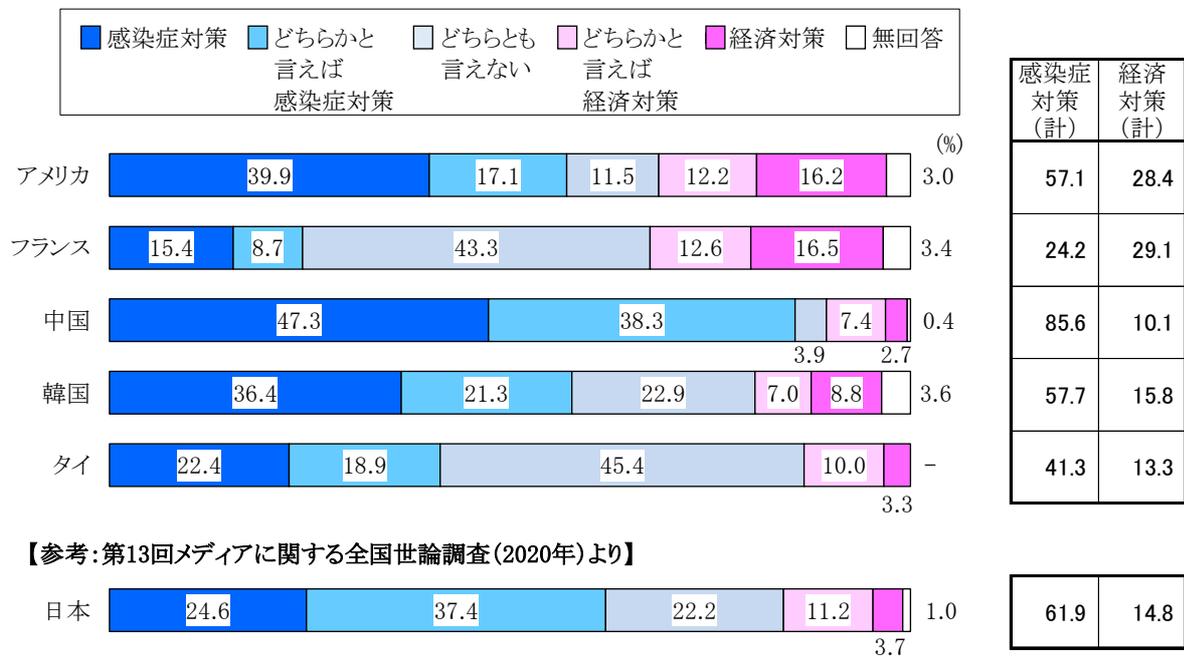
【参考:第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】

注：図表中の日本については第13回メディアに関する全国世論調査（2020年）より参考として表記。
「第13回メディアに関する全国世論調査（2020年）」は2020年11月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,064人（有効回収率61.3%）から回答を得た。
以下、同じ。

中、韓、米は感染症対策重視が多数

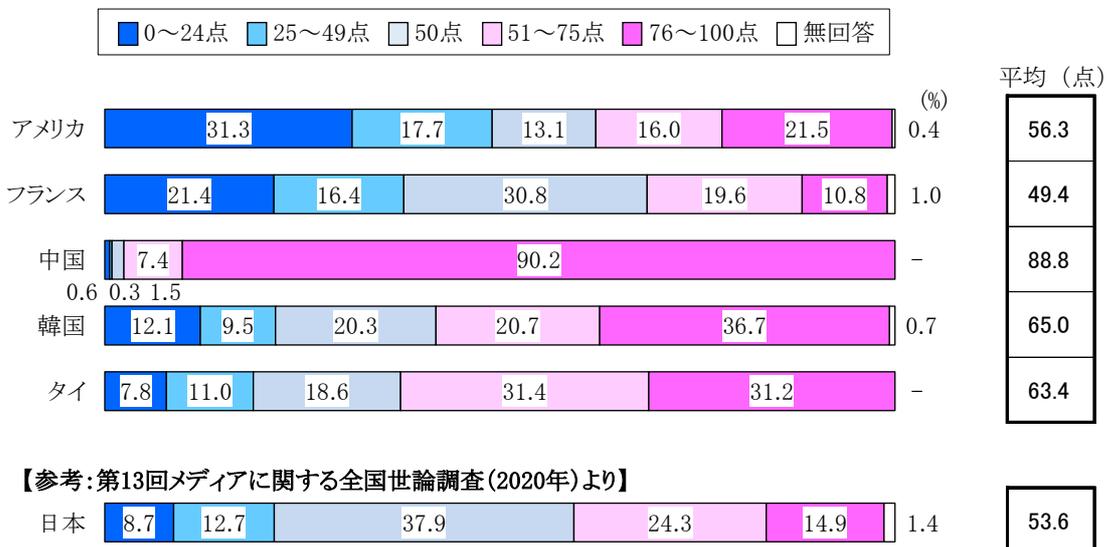
- ・ 自国政府の新型コロナウイルス感染症対策を評価する際、感染症対策と経済対策のどちらを重視したか尋ねたところ、「感染症対策」（「感染症対策」と「どちらかと言えば感染症対策」と答えた人の合計）が中国で85.6%と最も多く、次いで韓国が57.7%、アメリカが57.1%、タイは41.3%となった。フランスは「感染症対策」と「経済対策」（「経済対策」と「どちらかと言えば経済対策」の合計）がともに20%台にとどまり、「どちらとも言えない」が43.3%と多かった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する自国政府の対応を、大変評価している場合は100点、全く評価していない場合は0点、どちらとも言えない場合を50点として点数をつけてもらったところ、中国が88.8点と最も高く、次いで韓国が65.0点、タイが63.4点、アメリカが56.3点、フランスが49.4点だった。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、日本政府に対する評価は53.6点だった。

図表2 感染症対策と経済対策のどちらを重視したか（問15）



【参考:第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】

図表3 政府のコロナ対応の評価（問14）



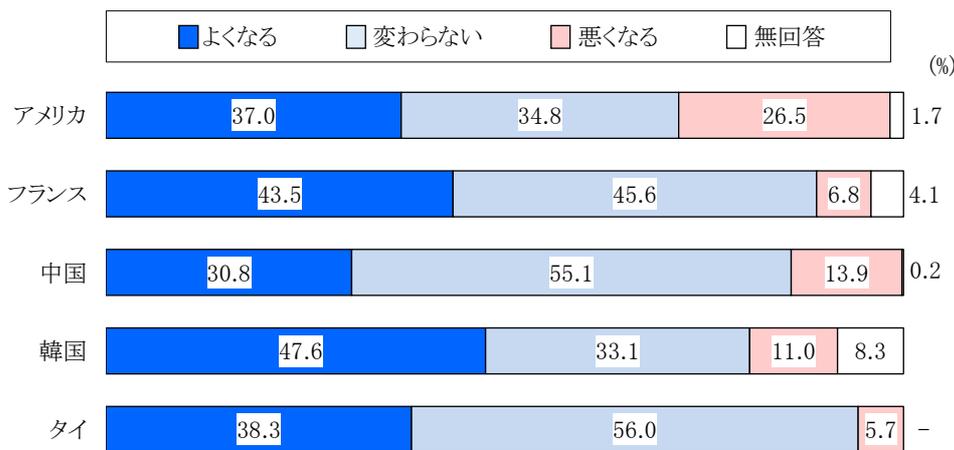
【参考:第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】

注:アメリカは0点~10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

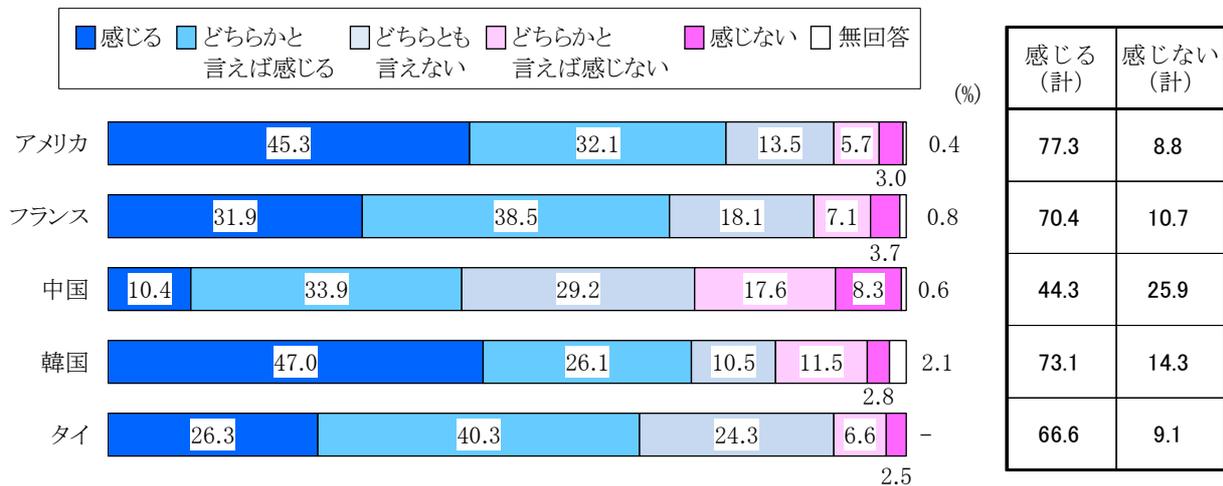
米、韓、仏は「社会の分断を感じる」が70%超

- ・ アメリカ大統領選後の世界はどうなっていくと思うか尋ねたところ、「よくなる」と答えた人が韓国で47.6%と最も多く、次いでフランスが43.5%となった。タイ、アメリカ、中国は30%台。タイと中国では「変わらない」が50%を超えた。アメリカは「悪くなる」が他の国より多く26.5%。
- ・ 自国で社会の分断を感じるか尋ねたところ、「感じる」（「感じる」と「どちらかと言えば感じる」と答えた人の合計）がアメリカで最も多く77.3%、韓国とフランスでも70%台となった。次いでタイは66.6%。中国は44.3%と少なかった。

図表4 アメリカ大統領選後の世界（問17）



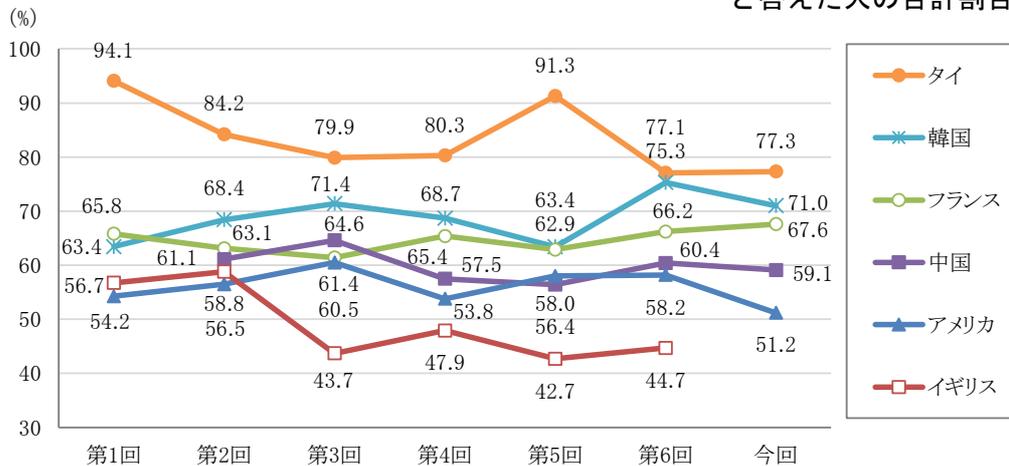
図表5 社会の分断（問18）



期待する日本報道、「観光情報」は米、仏、中で後退

- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで77.3%、韓国で71.0%となった。以下、フランス67.6%、中国59.1%、アメリカ51.2%。アメリカは前回から7.0%低下。
- ・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く4カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカは「国際協力や平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国と韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。
- ・前回調査と比較すると、「観光情報」は前回アメリカで6→4位、フランスで6→5位に上昇したが、今回はともに順位を1つ下げた。また、2位をキープしていた中国でも3位に下げた。いずれもコロナ禍による移動制限の影響で順位を下げたと推察される。中国では「政治、経済、外交政策」が第5回調査から7→5→2位に上昇。

図表6 日本のことが報道されると関心を持つか（問7） — 「とても関心がある」「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表7 メディアに期待する報道内容（問8）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
アメリカ	科学技術 82.3 (84.3/80.1) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 71.2 (74.5/72.5) 2←2←2	政治、経済、外交政策 66.1 (70.1/70.2) 3←3←3	歴史と文化 62.6 (64.3/65.8) 4←5←5	観光情報 62.3 (64.7/64.1) 5←4←6	生活様式や食文化 57.5 (63.5/66.5) 6←6←4	ファッション、アニメ、音楽 44.1 (48.9/47.7) 7←7←7	日本の皇族 36.4 (41.0/45.0) 8←8←8
フランス	科学技術 47.8 (45.0/53.2) 1←1←1	歴史と文化 40.5 (36.0/48.6) 2←3←2	生活様式や食文化 36.8 (37.2/47.1) 3←2←3	国際協力や平和維持活動 35.8 (35.5/42.7) 4←4←4	政治、経済、外交政策 33.4 (31.3/39.4) 5←6←5	観光情報 31.6 (31.9/37.5) 6←5←6	ファッション、アニメ、音楽 20.9 (16.1/24.2) 7←7←7	日本の皇族 6.7 (8.9/12.2) 8←8←8
中国	科学技術 70.2 (72.7/71.7) 1←1←1	政治、経済、外交政策 64.5 (54.8/49.7) 2←5←7	観光情報 63.3 (72.5/69.4) 3←2←2	生活様式や食文化 63.3 (63.2/58.2) 3←4←4	ファッション、アニメ、音楽 62.2 (64.0/66.9) 5←3←3	歴史と文化 53.7 (54.0/52.0) 6←6←6	国際協力や平和維持活動 45.1 (37.4/34.5) 7←8←8	日本の皇族 37.7 (41.9/54.5) 8←7←5
韓国	科学技術 84.9 (81.1/83.8) 1←1←1	政治、経済、外交政策 81.3 (74.2/76.7) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 76.3 (70.1/72.5) 3←3←3	歴史と文化 62.9 (55.4/61.8) 4←4←4	生活様式や食文化 55.4 (47.4/58.0) 5←5←5	観光情報 54.4 (39.2/55.8) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 38.1 (30.8/37.2) 7←7←7	日本の皇族 28.4 (27.9/27.2) 8←8←8
タイ	観光情報 86.5 (92.5/94.3) 1←1←1	科学技術 85.4 (83.3/87.7) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 79.4 (80.1/79.1) 3←5←5	生活様式や食文化 79.0 (82.4/86.8) 4←3←3	政治、経済、外交政策 78.3 (82.0/75.3) 5←4←6	歴史と文化 76.6 (75.3/83.6) 6←6←4	ファッション、アニメ、音楽 62.9 (66.0/65.9) 7←8←8	日本の皇族 61.3 (73.4/73.4) 8←7←7

※()内は、左から第6回調査、第5回調査の結果

※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第6回調査の順位、第5回調査の順位。青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

日本に関する情報、中国はネットが1位、 他の4カ国は「テレビ、新聞、雑誌」が1位

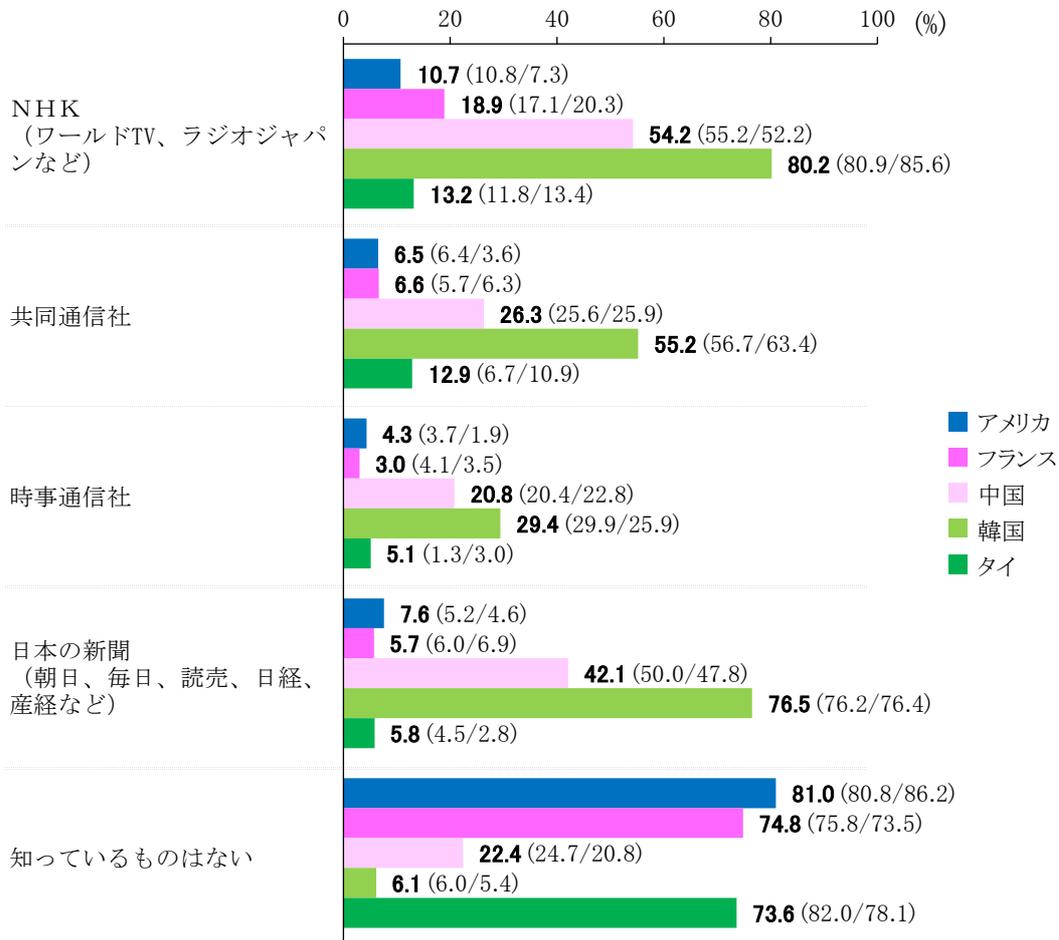
- ・ 日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の4カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位（複数回答）。中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。
- ・ 日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。「知っているものはない」はアメリカで81.0%、フランスで74.8%。知っているメディアでは、「NHK（ワールドTV、ラジオジャパンなど）」がすべての国で1位（複数回答）。

図表8 日本に関する情報の入手先（複数回答）（問3） (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	自国のテレビ、新聞、雑誌 48.4 (53.4/40.9)	インターネット 46.5 (45.1/30.7)	自分の家族や親戚、知人 23.1 (25.1/23.6)	学校教育 18.5 (23.7/18.5)	日本人の友人、知人 16.5 (20.4/16.4)	訪日経験 7.2 (8.9/7.5)
フランス	自国のテレビ、新聞、雑誌 83.2 (81.4/84.2)	インターネット 54.5 (45.3/51.8)	自分の家族や親戚、知人 42.1 (36.6/42.2)	学校教育 40.5 (30.0/39.8)	日本人の友人、知人 22.5 (18.2/17.2)	訪日経験 7.0 (6.6/5.2)
中国	インターネット 82.3 (84.5/83.4)	自国のテレビ、新聞、雑誌 61.2 (63.8/65.1)	自分の家族や親戚、知人 34.1 (34.8/34.0)	学校教育 28.0 (27.6/26.9)	訪日経験 9.3 (11.2/12.6)	日本人の友人、知人 6.8 (5.6/14.7)
韓国	自国のテレビ、新聞、雑誌 71.0 (69.8/72.1)	インターネット 51.9 (56.2/48.4)	自分の家族や親戚、知人 14.5 (19.1/15.8)	訪日経験 14.1 (12.7/13.9)	学校教育 14.1 (11.5/18.0)	日本人の友人、知人 10.6 (10.3/8.0)
タイ	自国のテレビ、新聞、雑誌 77.0 (80.6/84.3)	インターネット 71.7 (62.9/62.6)	自分の家族や親戚、知人 41.2 (40.8/23.3)	学校教育 16.4 (7.1/8.2)	日本人の友人、知人 7.2 (7.4/4.2)	訪日経験 4.9 (4.6/4.7)

※（ ）内は、左から第6回調査、第5回調査の結果

図表9 日本のメディアの認知度（複数回答）（問6）

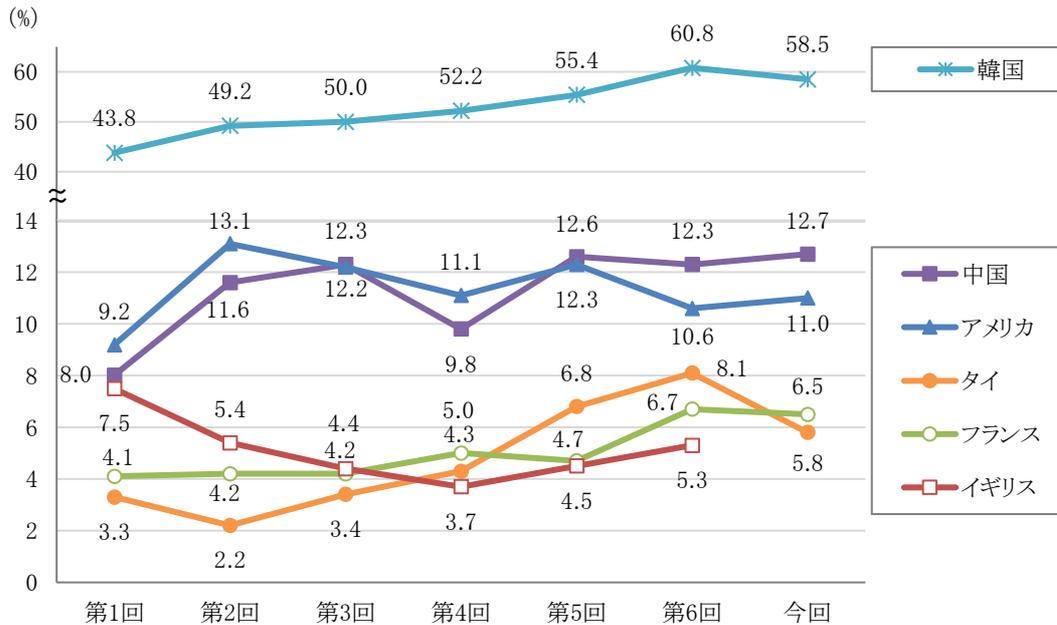


※（ ）内は左から第6回、第5回調査結果

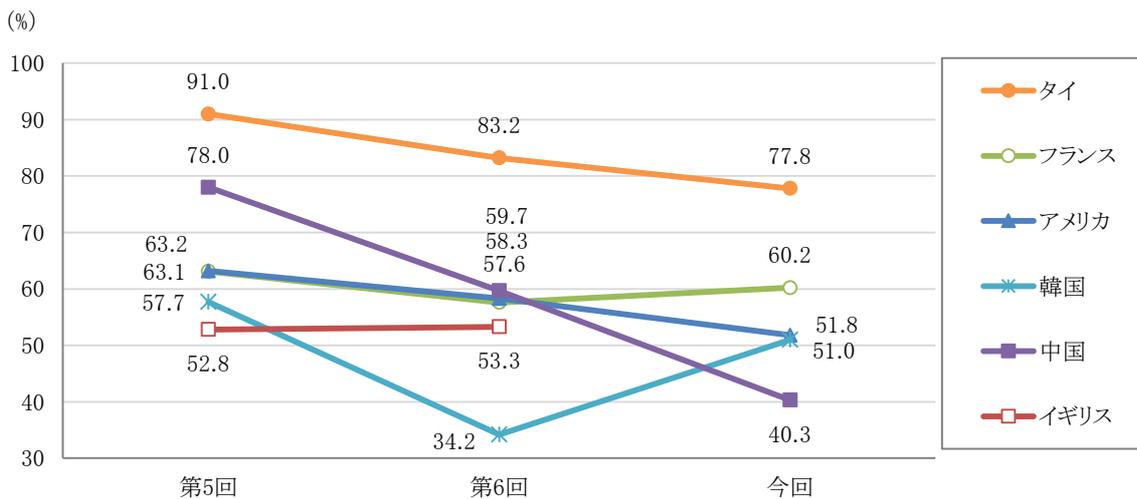
訪日意向、中、米、タイで減少続く

- ・ 訪日経験があるのは韓国で 58.5%。中国、アメリカは 10%強。タイ、フランスは 6%前後。時系列変化を見ると、韓国とタイが低下、他の3カ国は横ばい。
- ・ 訪日意向は、中国が前回より 19.4 ㊦減の 40.3%、アメリカが 6.5 ㊦減の 51.8%、タイが 5.4 ㊦減の 77.8%となった。一方、韓国が前回より 16.8 ㊦増の 51.0%、フランスが 2.6 ㊦増の 60.2%となった。

図表 10 訪日経験（問4）—「行ったことがある」と答えた人の割合



図表 11 訪日意向（問5）—「行きたい」と答えた人の割合



中国への好感度は4カ国すべてで低下

- ・ 日本に対する好感度はタイ 89.6%、アメリカ 79.6%、フランス 77.8%。前回と比べると、フランスは上昇、アメリカ、タイは低下。中国、韓国は 39.7%、31.3%と低い、ともに前回より上昇した。
- ・ アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、フランスは日本、イギリス、タイ、韓国、アメリカの順に 50%以上の好感度。
- ・ 中国はフランス、タイ、韓国の順に、韓国はアメリカ、イギリス、フランス、タイの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国、中国の順に 50%以上の好感度。
- ・ 前回からの変化を見ると、中国はアメリカ、フランス、タイの3カ国とは相互に好感度が低下した。また、中国はイギリスに対しても 27.3 点の大幅低下。タイは対象6カ国すべてに対して低下した。一方、韓国に対してフランスと中国、タイに対してフランスでは好感度が上昇した。

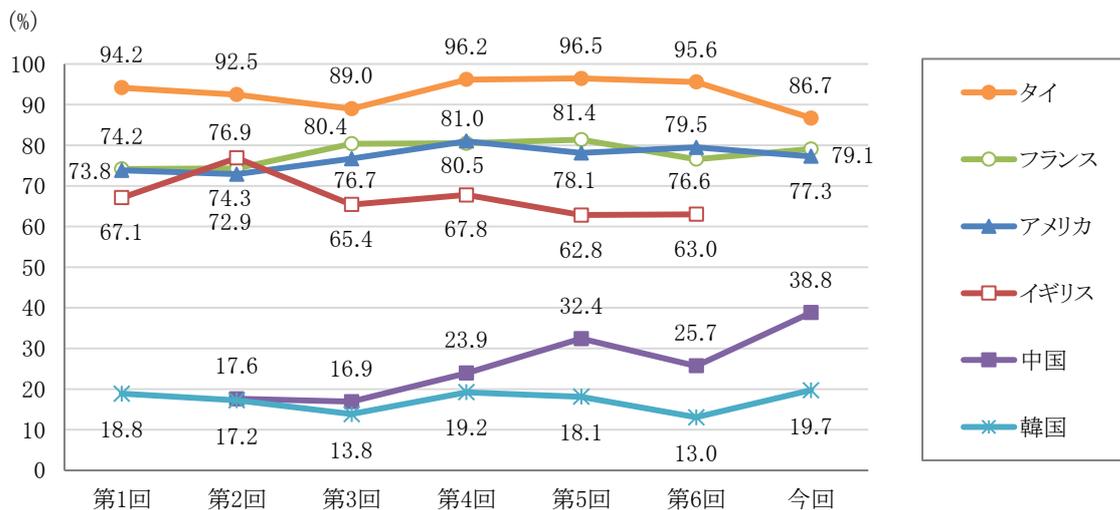
図表 12 各国間の好感度（問1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位	2位	3位					
		(%)							
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【今回】	実	米	79.6	*	87.0	83.3	29.0	46.8	62.4
	施	仏	77.8	52.2	68.6	*	31.0	60.8	63.7
	国	中国	39.7	26.6	46.0	70.6	*	54.0	63.3
		韓国	31.3	69.1	69.1	63.6	26.0	*	52.7
		タイ	89.6	72.7	81.8	77.6	56.1	64.7	*
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第6回】	実	米	82.8	*	85.1	79.1	43.6	46.7	65.1
	施	英	68.1	63.1	*	69.6	43.0	33.9	56.5
	国	仏	74.9	58.0	72.0	*	38.3	52.5	58.1
		中国	33.5	46.1	73.3	87.1	*	45.0	71.3
		韓国	22.7	64.2	68.8	68.4	31.9	*	59.0
		タイ	95.7	86.8	89.2	83.8	69.9	73.5	*
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第5回】	実	米	85.7	*	84.1	77.4	54.4	51.5	68.9
	施	英	62.0	61.7	*	68.1	45.5	34.4	55.3
	国	仏	79.1	56.1	74.7	*	43.8	56.4	65.3
		中国	33.9	59.5	82.3	86.7	*	36.8	67.2
		韓国	32.0	72.3	72.6	72.1	28.6	*	56.2
		タイ	96.5	84.8	89.5	84.5	51.6	69.7	*
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【今回-第6回】	実	米	-3.2	*	1.9	4.2	-14.6	0.1	-2.7
	施	仏	2.9	-5.8	-3.4	*	-7.3	8.3	5.6
	国	中国	6.2	-19.5	-27.3	-16.5	*	9.0	-8.0
		韓国	8.6	4.9	0.3	-4.8	-5.9	*	-6.3
		タイ	-6.1	-14.1	-7.4	-6.2	-13.8	-8.8	*
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第6回-第5回】	実	米	-2.9	*	1.0	1.7	-10.8	-4.8	-3.8
	施	英	6.1	1.4	*	1.5	-2.5	-0.5	1.2
	国	仏	-4.2	1.9	-2.7	*	-5.5	-3.9	-7.2
		中国	-0.4	-13.4	-9.0	0.4	*	8.2	4.1
		韓国	-9.3	-8.1	-3.8	-3.7	3.3	*	2.8
		タイ	-0.8	2.0	-0.3	-0.7	18.3	3.8	*
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第5回-第4回】	実	米	2.1	*	-0.8	1.4	-1.2	6.6	4.2
	施	英	-4.6	-1.2	*	-2.0	-10.2	0.8	-0.3
	国	仏	-2.0	-2.7	-3.3	*	-9.8	-2.8	-5.0
		中国	6.0	3.6	5.5	2.0	*	1.1	4.9
		韓国	-6.3	-1.0	-0.4	-0.8	-7.9	*	-0.3
		タイ	-1.8	9.1	0.9	0.8	-1.1	-5.8	*

日本に対する信頼度は中、韓で上昇

- 日本について「信頼できる」はタイで86.7%、フランスで79.1%、アメリカで77.3%。昨年度からの変化では、タイが8.9%低下した。中国は38.8%、韓国は19.7%と低いが、時系列変化を見ると、前回6.7%低下した中国は今回13.1%の上昇となった。前回5.1%低下した韓国は6.7%の上昇となった。
- 6カ国相互の信頼度では、アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、フランスは日本、イギリス、タイ、韓国、アメリカの順に50%以上の信頼度。中国はフランス、タイ、韓国の順に、韓国はイギリス、フランス、アメリカの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国の順に50%以上の信頼度。
- 前回からの変化を見ると、中国はアメリカ、フランス、タイの3カ国とは相互に10%以上の低下となった。また、中国はイギリスに対しても24.7%の大幅低下。タイは対象6カ国すべてに対して低下した。一方、アメリカに対して韓国、韓国に対してフランスでは信頼度が上昇した。

図表 13 日本の信頼度（問2） — 「とても信頼できる」「やや信頼できる」と答えた人の合計割合



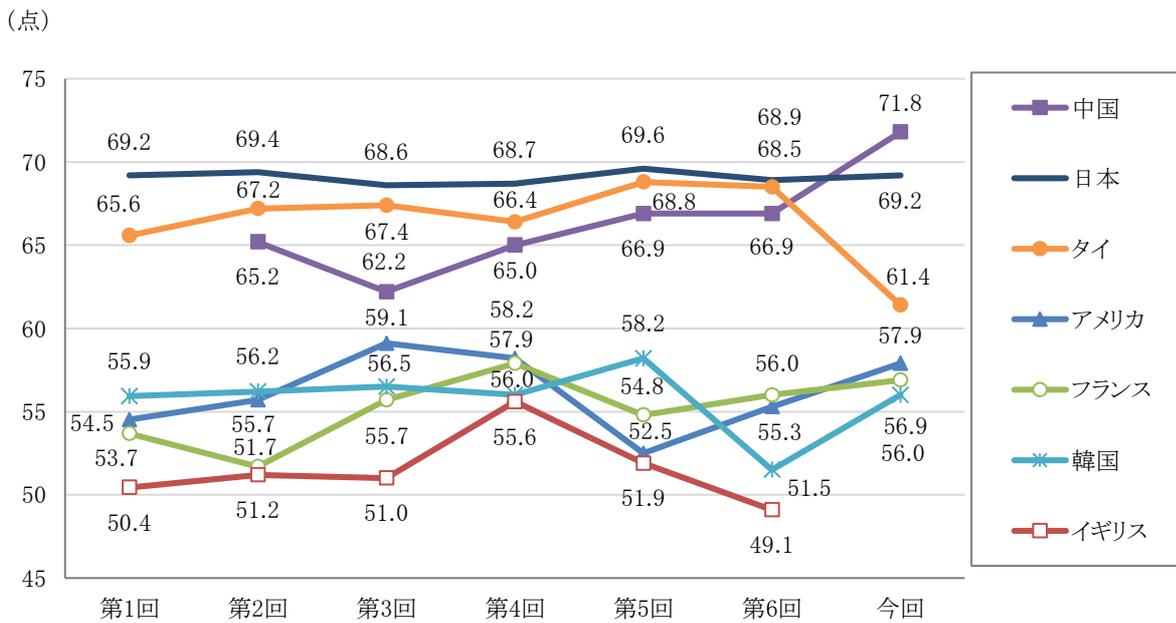
図表 14 各国間の信頼度（問2） — 「信頼できる」と答えた人の割合

		1位	2位	3位	5ポイント以上のプラス				5ポイント以上のマイナス						
【今回】	対象国	日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ
	実施国	米	77.3	*	86.9	84.1	22.5	43.9	60.8	-2.2	*	-0.1	3.2	-11.9	-0.3
	仏	79.1	55.9	77.0	*	27.1	58.0	58.9	2.5	-2.5	-1.5	*	-10.0	8.2	4.4
	中国	38.8	24.4	44.0	66.2	*	51.0	56.8	13.1	-14.7	-24.7	-17.5	*	2.7	-10.2
	韓国	19.7	59.0	65.0	60.2	10.8	*	41.9	6.7	10.2	2.0	-2.5	-3.0	*	-4.0
	タイ	86.7	66.4	80.5	76.4	49.8	63.2	*	-8.9	-17.2	-7.6	-9.0	-16.1	-6.0	*
【第6回】	対象国	日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ
	実施国	米	79.5	*	87.0	80.9	34.4	44.2	61.8	2.5	-2.5	-1.5	*	-10.0	8.2
	英	63.0	49.7	*	65.4	31.0	30.9	46.7	13.1	-14.7	-24.7	-17.5	*	2.7	-10.2
	仏	76.6	58.4	78.5	*	37.1	49.8	54.5	6.7	10.2	2.0	-2.5	-3.0	*	-4.0
	中国	25.7	39.1	68.7	83.7	*	48.3	67.0	-8.9	-17.2	-7.6	-9.0	-16.1	-6.0	*
	韓国	13.0	48.8	63.0	62.7	13.8	*	45.9							
	タイ	95.6	83.6	88.1	85.4	65.9	69.2	*							

新聞の情報信頼度、中、米、仏、韓で上昇

- ・ 新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、中国が71.8点で前回より4.9点の上昇、タイが61.4点で7.1点の低下、アメリカが57.9点で2.6点の上昇、フランスが56.9点で0.9点の上昇、韓国が56.0点で4.5点の上昇だった。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は69.2点だった。

図表 15 新聞の情報信頼度（問 12）



注：アメリカは0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

ニュース視聴の利用媒体、中国はネットが1位、他の4カ国はテレビが1位

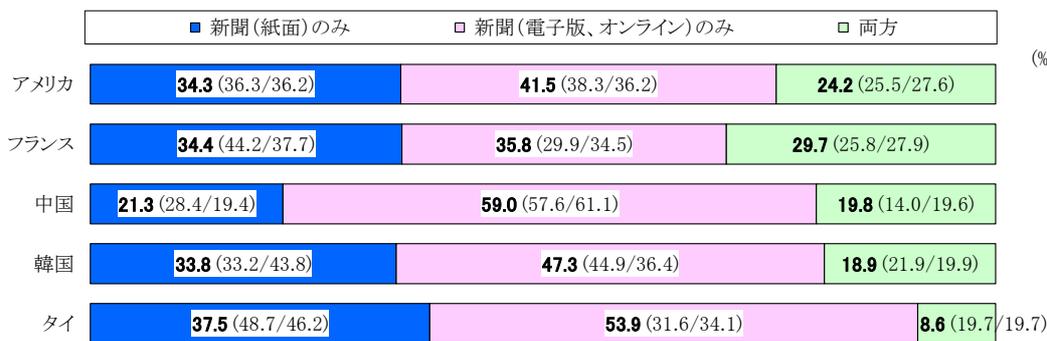
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ、フランス、韓国、タイはテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位（複数回答）。2位にはアメリカ、韓国はインターネットのニュースサイト、フランスは新聞、中国はテレビ、タイはSNS (facebook、twitter など)。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、5カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に中国とタイは50%を超えた。前回と比べると、「電子版のみ」はタイの22.3%増をはじめ、5カ国とも増加した。
- ・ ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、前回同様5カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位（複数回答）。

図表 16 ニュース視聴の利用媒体（複数回答）（問 9） (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	テレビ 70.5(70.8/64.2)	インターネットのニュースサイト 54.7(51.9/43.3)	新聞 52.0(51.5/41.8)	SNS (facebook、twitterなど) 47.0(43.1/30.2)	ラジオ 37.9(34.2/26.9)	雑誌 16.2(18.3/14.5)
フランス	テレビ 83.0(78.9/84.4)	新聞 76.5(68.4/72.2)	ラジオ 66.1(63.8/70.3)	インターネットのニュースサイト 54.6(48.8/49.4)	SNS (facebook、twitterなど) 42.0(34.9/47.4)	雑誌 41.9(35.8/47.6)
中国	インターネットのニュースサイト 80.1(82.1/82.3)	テレビ 70.1(73.7/71.3)	SNS (facebook、twitterなど) 70.0(72.6/67.5)	新聞 48.0(51.4/47.0)	ラジオ 16.4(17.0/12.4)	雑誌 11.7(17.3/11.2)
韓国	テレビ 72.4(65.0/72.8)	インターネットのニュースサイト 61.1(61.8/59.8)	新聞 33.4(30.1/29.7)	SNS (facebook、twitterなど) 26.4(20.7/16.8)	ラジオ 12.6(16.2/12.9)	雑誌 5.0(4.3/6.0)
タイ	テレビ 87.8(89.3/91.0)	SNS (facebook、twitterなど) 86.0(75.2/67.4)	インターネットのニュースサイト 47.3(21.7/22.0)	新聞 15.2(19.3/13.2)	ラジオ 6.5(4.9/3.6)	雑誌 3.0(3.2/5.2)

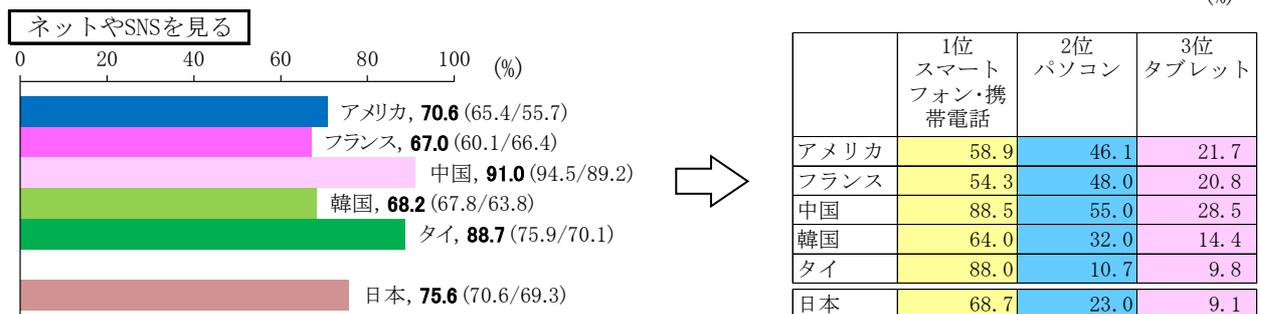
※()内は、左から第6回調査、第5回調査の結果

図表 17 新聞を紙、電子版のどちらで読むか（問 9）



※()内は、左から第 6 回調査、第 5 回調査の結果

図表 18 ネットニュースや SNS を見る割合と使用機器（複数回答）（問 9、問 10） (%)

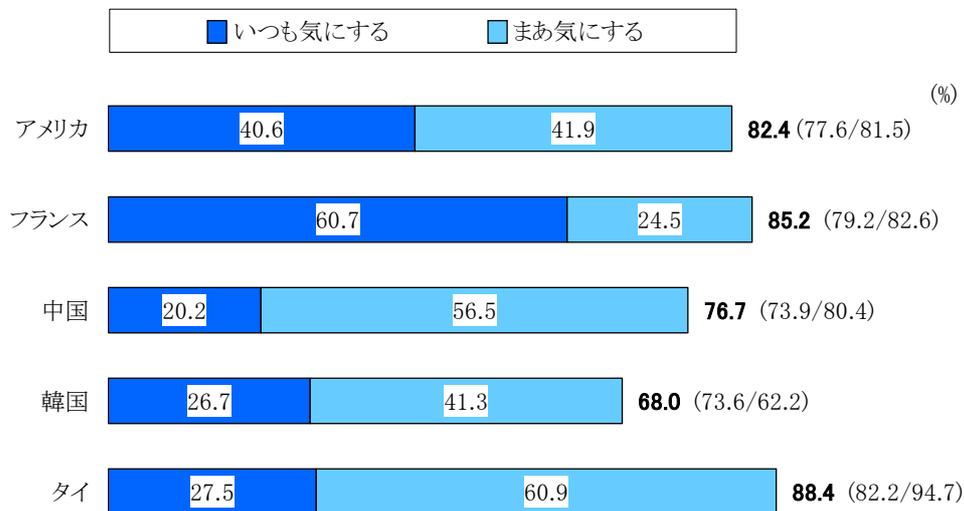


※()内は、左から第6回調査、第5回調査の結果

ネットニュースの出所を気にするのは、タイ、米、仏で80%台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、5カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）が60%以上となり、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが88.4%で最も多く、アメリカ、フランスでも80%台。中国は76.7%、韓国は68.0%だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが60.7%で最も多く、次いでアメリカが40.6%。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国を除く4カ国で増加した。昨年11月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が42.4%、そのうち「いつも気にする」のは11.1%だった。

図表 19 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問 11）



【参考:第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】

日本 11.1 31.3 42.4 (40.1/39.9)

注1: 棒グラフ右外側の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計。

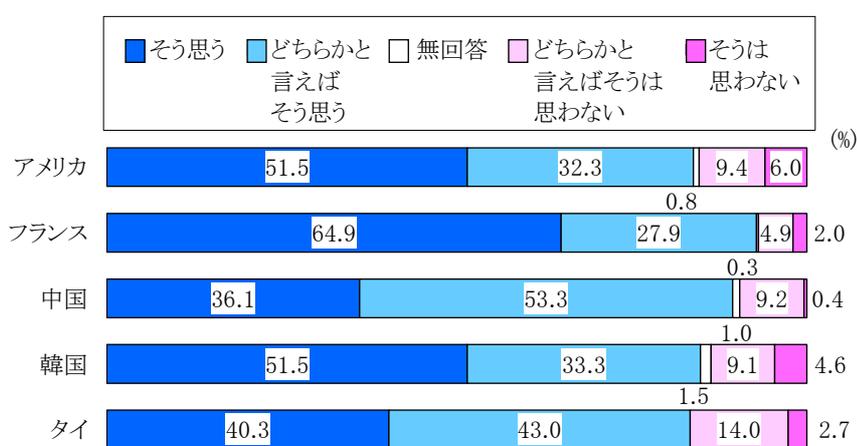
注2: () 内は、左から第6回調査、第5回調査の結果。

「報道の自由は常に保障されるべき」各国 80%以上が支持

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）がフランスで最も多く 92.8%。他の4カ国で80%台。昨年と比較すると、フランスと中国では増加、アメリカとタイでは減少した。
- ・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイと中国で70%台。アメリカ、韓国で50%を超えるが、フランスで43.0%にとどまった。昨年と比較すると、アメリカ、中国、韓国では増加、フランスとタイでは減少した。

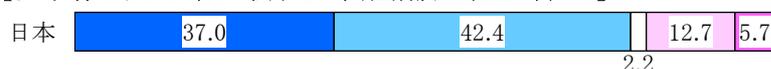
図表 20 報道の自由について（問 13）

（1）報道の自由は常に保障されるべきだ



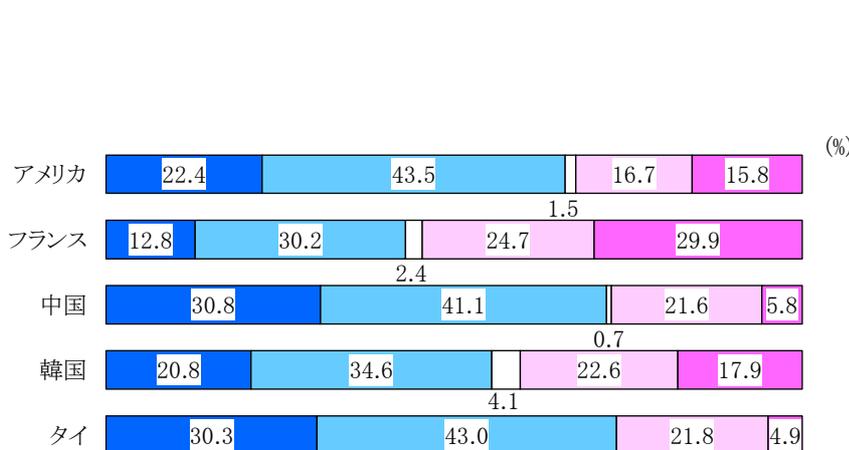
そう思う (計)					
今回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回
83.8	87.6	84.4	89.1	90.4	91.1
92.8	89.0	92.2	93.4	92.8	93.1
89.4	86.0	88.6	81.1	85.4	86.5
84.8	84.4	87.4	91.7	90.5	90.5
83.3	88.1	85.1	90.2	88.2	84.7

【参考：第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】



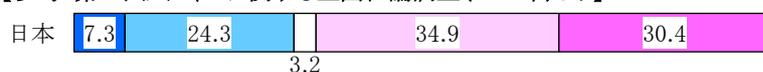
79.4	80.8	82.3	83.2	82.6	83.2
------	------	------	------	------	------

（2）国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う



そう思う (計)					
今回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回
65.9	57.0	58.9	60.1	63.3	69.4
43.0	49.1	48.4	48.4	47.3	56.5
71.9	68.4	65.0	73.7	72.9	79.7
55.4	50.4	59.9	53.5	47.9	58.1
73.3	84.0	82.2	82.6	74.9	80.5

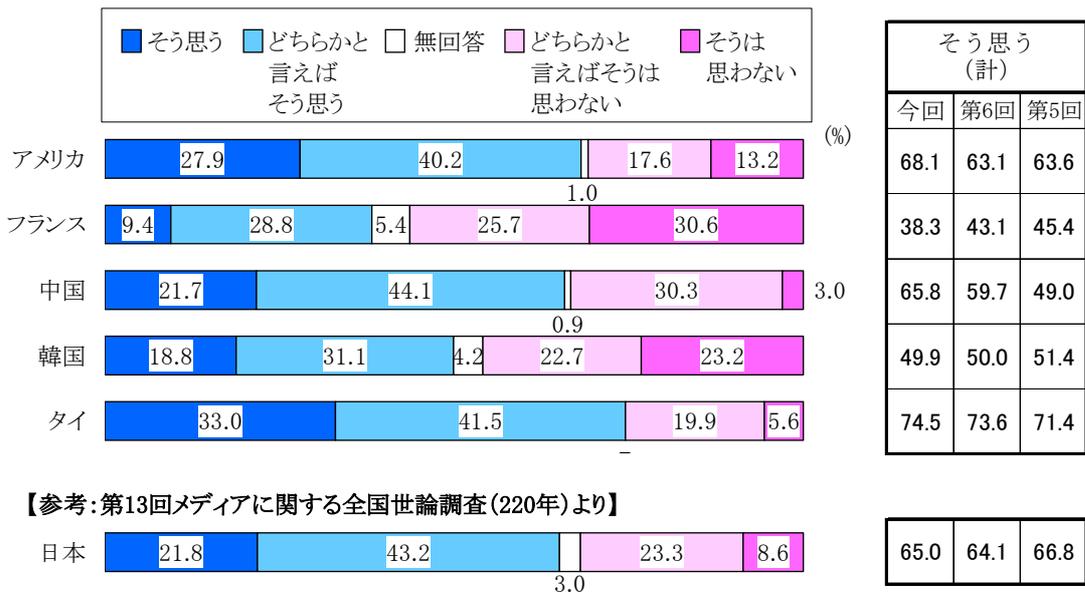
【参考：第13回メディアに関する全国世論調査(2020年)より】



31.6	33.0	33.6	30.5	32.6	27.6
------	------	------	------	------	------

- ・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がタイで最も多く74.5%、アメリカ、中国で60%台となったが、韓国とフランスで50%を下回った。昨年と比較すると、アメリカと中国では増加、フランスでは減少した。
- ・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がアメリカ、フランス、タイで70%台。中国と韓国は50%台。昨年と比較すると、アメリカと中国では増加、フランス、韓国、タイでは減少した。

(3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う



(4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う

